

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

北海道 足寄町

自治体名：北海道 足寄町

担当課名：教育委員会教育総務室

電話番号：0156-25-3188

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	1,408.08 km ²
人口	5,927 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	142 人
部活動数	7 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の運動部活動は、野球部、サッカー部、バドミントン部、卓球部、スケート部、陸上競技部、バレーボール部の7つが活動している。

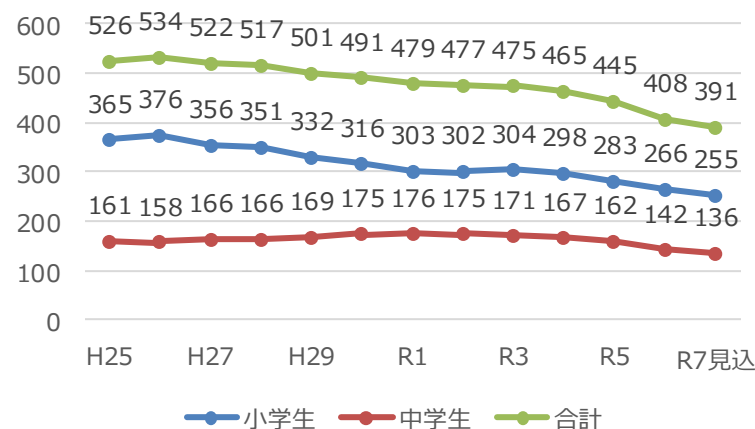
少子化に伴い、学校単位での部活動の維持が困難になってきており、従来から野球部、サッカー部、バレーボール部が他町の中学校と合同チームによる活動を行っている。保護者の送迎などの負担も増加しており、部員数によって左右されることもあるため、今後の継続が見通せない状況となっている。

また、活動・指導経験のない教員が部活動を

指導せざるを得なくなったりすることで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっているなど、学校主体の部活動体制では、将来的には団体スポーツに限らず部活動の存続は難しいものと考えている。

部活動の地域移行推進にあたっては、運営団体の整備や指導者の確保、近隣自治体との連携した取組などの課題が考えられる。

足寄町立学校児童生徒数の推移



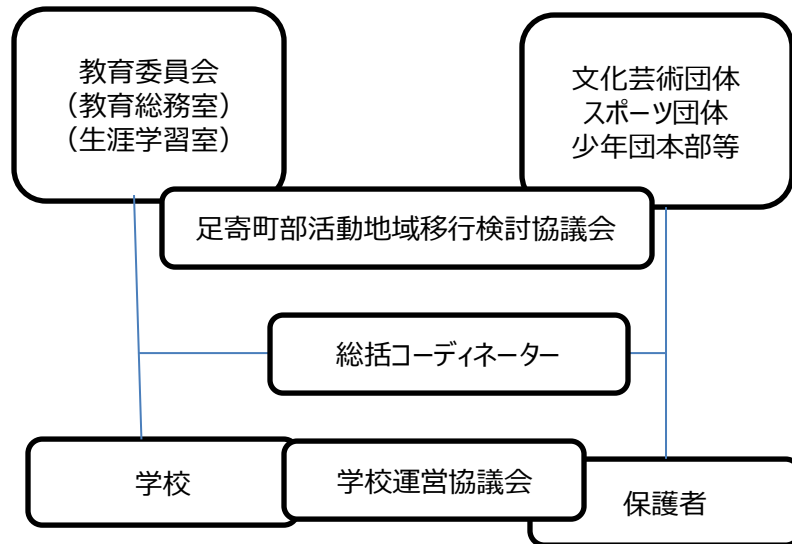
【課題】

現在の足寄町の出生数を鑑みると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・教育総務室…事務局（学校部活動所管）
- ・生涯学習室…（文化・スポーツ関係団体所管）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	住民向けチラシ配布
令和6年5月	令和6年度外部指導者体制における部活動の実施
令和6年7月	第1回協議会の開催
令和6年8月	近隣自治体との協議
令和6年11月	アンケート調査の実施（対象：部活動生徒・保護者・教員）
令和6年12月	第2回協議会の開催
令和7年3月	指導者講習会の開催（予定）
令和7年3月	第3回協議会の開催（予定）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 クラブ（3 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	8 人	全体の運営スタッフ数	11 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
（仮）足寄町スケートクラブ	競技団体	（新）スピードスケート	週 1 回	9 時～11 時	中1：4人 中2：0人 中3：3人	令和6年5月～令和7年2月	足寄町里見が丘レストハウス・スケートリンクほか	3 人	4 人 (内、兼務0人)	なし（別途部費徴収）	中体連他：部活動
（仮）足寄町陸上クラブ	競技団体	（新）陸上	週 1 回	8 時～10 時30 分	中1：4人 中2：5人 中3：10人	令和6年5月～令和7年2月	足寄町里見が丘陸上競技場ほか	2 人	3 人 (内、兼務0人)	なし（別途部費徴収）	中体連他：部活動
（仮）足寄町卓球クラブ	競技団体	（新）卓球	週 1 回	8 時30 分～11 時30 分	中1：6人 中2：12人 中3：14人	令和6年5月～令和7年2月	足寄中学校体育館ほか	3 人	4 人 (内、兼務0人)	なし（別途部費徴収）	中体連他：部活動

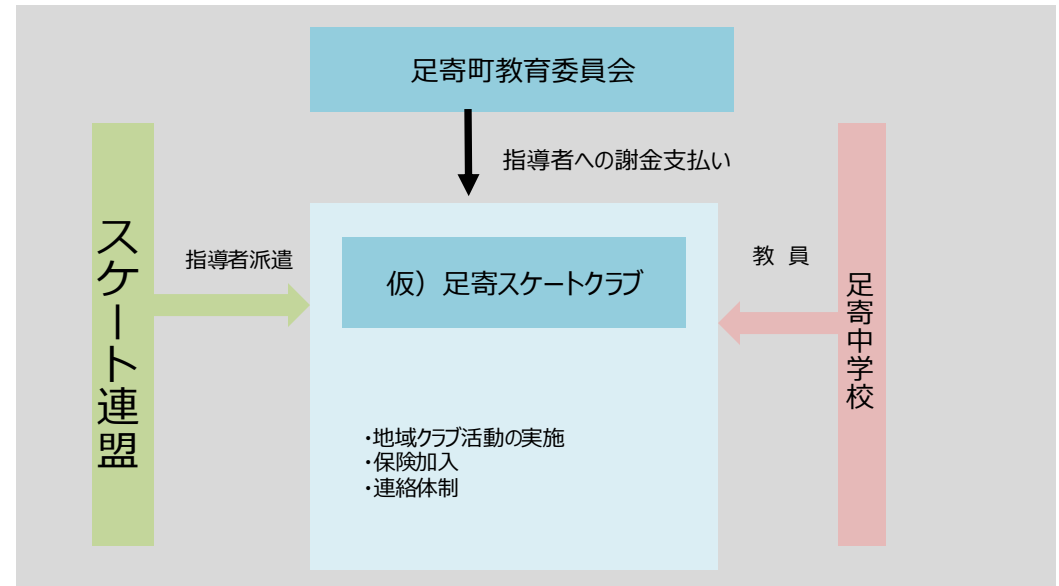
2.実証内容と成果

主な取組例

●足寄町スケートクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	スピードスケート
運営団体名	(仮) 足寄町スケートクラブ
期間と日数	令和6年5月～令和7年2月
指導者の主な属性	町スケート連盟会員
活動場所	足寄町里見が丘レストハウス
主な移動手段	徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	なし(別途部費徴収)
1人あたりの保険料	別途徴収する部費から支出

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- (仮) 足寄町スケートクラブ 3名
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 中学校 1名
役割：学校内での連絡等の連携

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

広域的な活動を行う総括コーディネーターを1名配置し、関係団体との連絡調整・指導助言を行う。
外部指導者配置競技を対象とした活動状況アンケートを行う。

取組の成果

○町内の競技団体や、合同チームを結成する近隣町との意見交換会を実施する中で現状の把握に努めた。結果については協議会の中で地域移行の課題等を共有した。
○外部指導者の休日の部活動状況についてのアンケートの実施を行い、状況確認を行った。

総括コーディネーターの主な活動（令和6年度）

- ・部活動団体への聞き取り
- ・協議会開催状況の調査
- ・町内の競技に係る準備及び運営
- ・生徒・保護者・顧問対象のアンケート作成
- ・近隣町の教育長会議開催
- ・十勝管内関係者会議への出席
- ・指導者の活動状況確認

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 町内の競技団体との意見交換の場の設定。
- アンケートの実施。

今後の課題と対応方針

- 地域クラブの基準がないため要件や基準等を整備していくことが必要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

町内の関係団体に依頼し指導者を確保した。確保にあたり、現状の部活動からの引き継ぎ期間として、事前に外部指導者に実際の部活動の状況を見てもらい、教職員と指導方法等の打ち合わせを行うなど、指導体制の変更に伴う生徒への負担感の軽減に努めた。報酬体系も明確化し、安心して指導できる体制づくりに努めた。指導者の資格取得に向けたスケジュール・財源等について検討した。

指導者属性

職業	
・自営業	1名
・会社員	1名
・団体職員	1名
・公務員	5名

種目

スピードスケート	3名
卓球	3名
陸上	2名

指導者の役割

競技指導
活動日の日程調整
参加者との連絡調整
大会・練習試合引率

取組の成果

○関係団体の理解のもと指導者8名の派遣を受け、高度な指導が行えるようになり指導レベルが向上した。

- ・最低週1回の休日の指導体制を構築した。
- ・各競技に複数の指導者を配置することで、活動日や時間を調整し、練習や大会引率など柔軟な対応が可能となった。

教員外指導者が指導する活動の一例



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

○地域クラブの概要説明。

- ・本取組における国の動きについて、町内各自治会宛に回覧したチラシを用い説明。

○活動状況の報告。

- ・各指導者の自己紹介を含む。
- ・指導における課題の報告

○足寄町の地域移行についての説明。

- ・現在の外部指導者体制を基盤とし、地域主体の活動へと移行するイメージを共有。

○報酬体系に係る説明。

○指導体制に係る意見交換。

- ・課題とその解決について共有。

指導者研修の参加実績

- ・開催日時： 令和7年3月12日（水曜日）18時30分～
※指導者の勤務スケジュールを考慮し、参加しやすい日程で設定
- ・開催場所： 足寄町民センター
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 11人予定

受講者の声

未実施のため記載せず。

今後の課題と対応方針

未実施のため記載せず。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度2年目を迎え、運営協議会としては、地域クラブについてより深く認識することができた。しかし、近隣町との合同チームにおいては、練習の際の移動手段が問題となっていることが依然として課題となっている。

新たな形では、部活動外部指導者の派遣を関係団体から行い、地域クラブとしての活動を広めてきた。更に活動の検証を行うため生徒・保護者・教員へのアンケートを実施した。

近隣町との情報交換では、自治体毎に認識や財政状況が異なる中、同じように部活動の地域移行が進められていないことが明らかとなった。今後は、取組状況を定期的に共有するなどし、同じ認識を持って進めて行くよう確認した。

令和7年3月に実施予定の指導者講習会では、様々な種目において外部指導者を派遣したことについての感想などを聞き次年度へつなげることにしたい。

●成果の評価

○部活動検討協議会

- ・ 検討協議会を開催することで委員との情報を深く共有することができた。
- ・ 課題等も出され地域クラブについての深く認識することができた。

○外部指導者の派遣

- ・ 生徒に専門的な技術指導と助言をすることで競技力向上につながった。
- ・ 教員が付けられない時でも安全に部活動を行えることができた。

○アンケートの実施

- ・ アンケート結果で様々な意見や感想を得ることができた。

○近隣町との情報交換

- ・ 各町の活動状況を確認し、同じ認識を持つことを確認できた。

●今後に向けて

検討協議会の継続

- ・ 関係団体の意見を聞く場として必要である。

外部指導者の派遣

- ・ 関係団体と協議をしながら部活動の継続を行う。

アンケートの実施

- ・ 生徒、保護者、教員からの意見や感想を聞くことでトラブルを防ぐ。

地域クラブの基準作成

- ・ 地域クラブの基準がないため要件や基準等を整備していくことが必要。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・回答者の声

●アンケート結果

外部指導者を配置した活動に所属する生徒、保護者、教員に対し、配置後5カ月を経過した時点で現状を把握するため実施した。

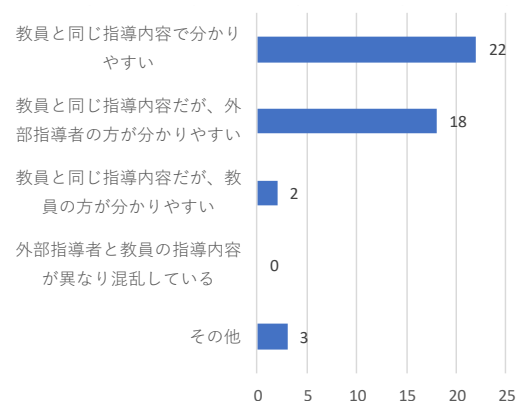
<対象>

生徒（配布数57 回収数46）

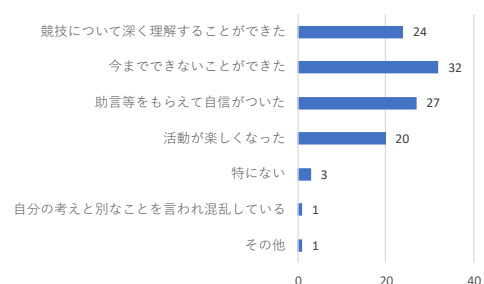
保護者（配布数57 回収数46）

教員（配布数 6 回収数 6）

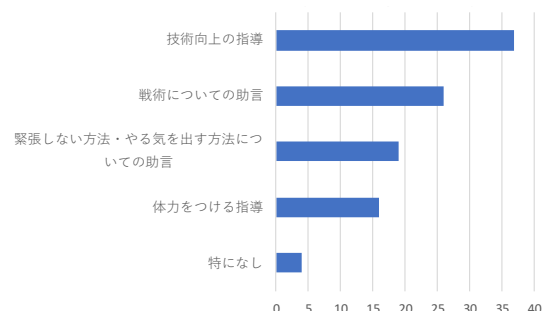
Q.外部指導者の技術指導や助言をどのように感じている（いた）か？



Q.外部指導者から技術指導や助言を受け、変わったと思うところは？



Q.外部指導者からどのような指導を受けたいか？



●回答者の声

生徒

○ 部活動での外部コーチからアドバイスを受けて今までできなかったことができるようになった。試合で助言等をもらえて自信がついた。

○ 外部コーチからの指導を受けることで練習が充実した。

保護者

○ 試合で外部コーチから助言を受け自信がついた。

教員

○ 休日過ごせる時間ができた。

○ 休日外部指導者だけでは不安があるのでもう少し様子を見ていきたところでもある。

外部の指導者設置に関するアンケート（実施期間：令和6年11月11日～11月21日）の結果抜粋（生徒分のみ）

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【協議会の様子】



【外部指導者の活動（スケート部）】



【外部指導者の活動（卓球部）】



【外部指導者の活動（陸上部）】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

- ・ 検討協議会
- ・ 競技団体から外部指導者の派遣
- ・ 生徒、保護者、教員からのアンケートの実施
- ・ 近隣町との協議
- ・ 令和8年を見越した部活動の展開

○地域移行検討協議会 2年目を終え、会議の中で意見を出しながら足寄町の文化、スポーツ活動また、学校の活動を知ることができた。

○外部指導者を関係団体から派遣してもらい3部活においては外部指導者から専門的な技術指導や助言をもらい向上につなげることができた。

○生徒、保護者、教員から外部指導者の指導状況についてアンケートを実施し感じることができた。

○近隣町と情報交換を行い進捗状況を確認することができた。

○令和8年度を見越した地域クラブについて検討した。

令和7年

- ・ 検討協議会
- ・ 各種関係団体等の協議
- ・ 近隣町との協議
- ・ 令和8年を見越した部活動の展開

○検討協議会の実施

・ワークショップ等の手法も用い、地域移行後の体制について協議することも検討。

○各種関係団体と外部指導者派遣についての協議

・外部指導者未派遣の団体との派遣に向けた協議

・外部指導者派遣中の団体との継続した派遣体制に向けた協議

○近隣町との地域クラブについて協議

・指導者の確保、移動、財源等課題の整理

○外部指導者の資質向上に向けた取組

○指導者の確保

令和8年

- ・ 検討協議会
- ・ 地域クラブの活動開始

○検討協議会の開催

・地域クラブの活動状況の報告・検証

・地域クラブの発展に向けた協議

・未移行競技のクラブ化に向けた協議

○地域クラブ活動の実施

○活動実績の点検

○外部指導者の資質向上に向けた取組

○指導者の確保

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

足寄町教育委員会 部活動改革スケジュール（案）

2024年度
(R6)

2025年度
(R7)

2026年度
(R8)

- 総括コーディネーターの配置
- 協議会の開催
- アンケートの実施
- 中学校部活動への指導者派遣
- 近隣町との情報交換
- 周知活動
- 土日祝日における外部指導者の指導開始
- 令和8年度からの地域クラブの検討

- 土日祝日における外部指導者の活用開始
競技種目 団体競技（野球・サッカーバレーボール）
個人競技（卓球・陸上・スケート・バドミントン・水泳）

- 受け皿団体の検討

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

北海道厚岸町

自治体名：北海道厚岸町

担当課名：教育委員会生涯学習課

電話番号：0153-52-7785

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	739.12 km ²
人口	8,195人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	171 人
部活動数	8 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

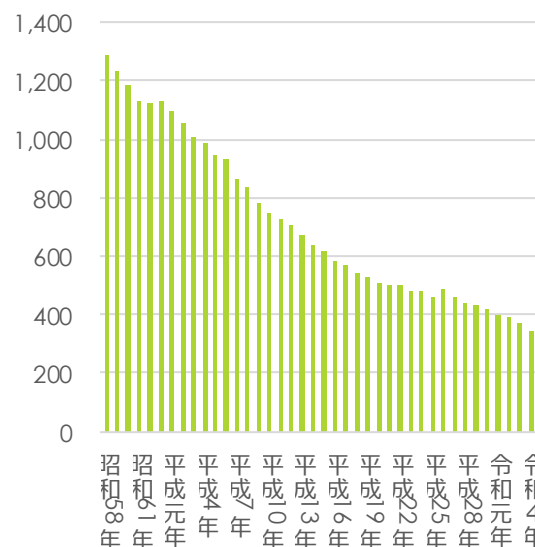
厚岸町における運動系部活動については、中学校 3 校で 8 部活動が活動している。そのうち 1 校については、1 部活動に部員がいないため現在は休部状態となっている。

令和 6 年度の活動内容としては、そのうちの 1 部活動（陸上部）が、平日は学校部活動として活動し、休日の活動については地域クラブ活動に移行した。地域で指導可能な人材がいたとはいえ、円滑な移行のため、当面は学校部活動

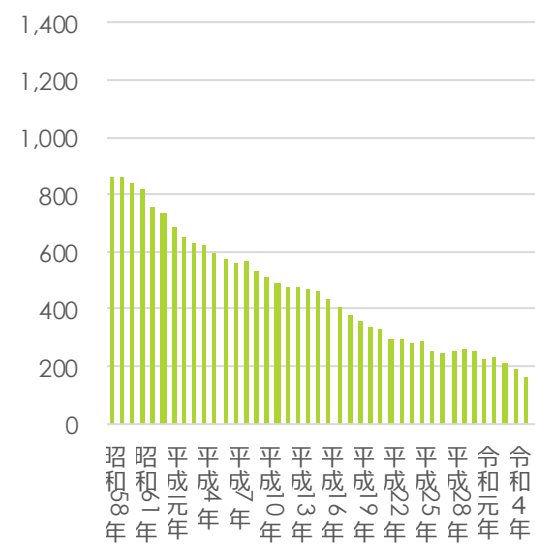
顧問の教員にも地域指導者として活動に加わっている。

本町は、児童生徒数の減少に伴い、少年団に加入する児童も減少傾向にあったが、陸上少年団と中学校陸上部が厚岸レーシングクラブとして地域クラブチームである厚岸総合クラブJOYのモデルクラブとなったため、小中連続したクラブ活動の環境が整った。

厚岸町小学校児童数



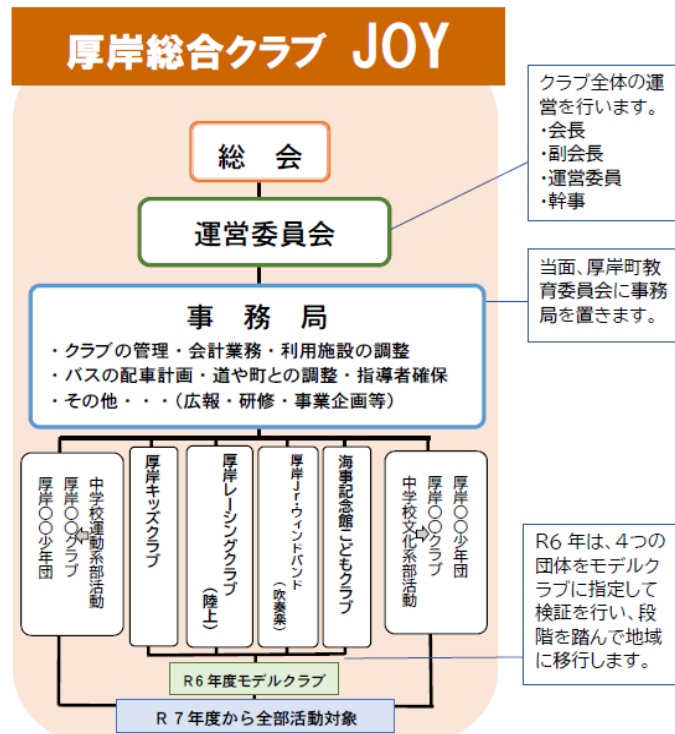
厚岸町中学校生徒数



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎町長部局

・生涯学習課・厚岸総合クラブJOYの事務局を担う。

◎町長部局

・総合政策課・予算措置、企業版ふるさと納税に係る協議・検討。

年間の事業スケジュール

月	日	内 容
令和6年	8	モデルクラブ4団体募集開始
	4 13	厚岸レーシングクラブ活動開始【JOYスタート】
	24	第2回厚岸町議会厚生文教委員会へ取組状況説明
	5 11	厚岸Jr.ウィンドバンド活動開始
	25	海事記念館こどもクラブ開始
	6 22	厚岸キッズクラブ活動開始
	25	厚岸総合クラブJOY第1回運営委員会【JOY組織確立】
	9 18	平成6年度第1回厚岸町部活動地域移行検討協議会 厚岸総合クラブJOY第2回運営委員会
	10 1	JOYサポーターバンク募集開始
	18	企業版ふるさと納税WEB募集開始
	11 26	真龍中学校に施設管理人配置（土・日） 令和6年度部活の地域移行研修会
	12 19	厚岸総合クラブJOY第3回運営委員会
令和7年	25	平成6年度第2回厚岸町部活動地域移行検討協議会
	1	JOY生徒・保護者アンケートの実施
	7	厚岸町教育研究所2月研究大会
	2 19	平成6年度第3回厚岸町部活動地域移行検討協議会 厚岸総合クラブJOY第4回運営委員会
	28	厚岸総合クラブJOY説明会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（1）		厚岸レーシング クラブ（陸上 部）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（1）		厚岸キッズクラブ
全体の指導者数	3 人	全体の運営スタッフ数	5 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
厚岸レーシング クラブ	厚岸総合クラブ JOY	陸上	月 4 回	9 時～12 時	中 1 1 名 中 2 7 名 中 3 1 名	4 月～3 月	真龍中学校グラウンド	2 人	無	小学生年会費4,000円 中学生年会費4,500円	すべての大会は地域クラブで参加
厚岸キッズクラブ	厚岸総合クラブ JOY	運動	月 1 回	9 時～11 時	4 歳 6 名 5 歳 5 名 小 1 7 名 小 2 2 名 小 3 1 名	4 月～3 月	厚岸B&G体育館	1 人	5 人	無	無

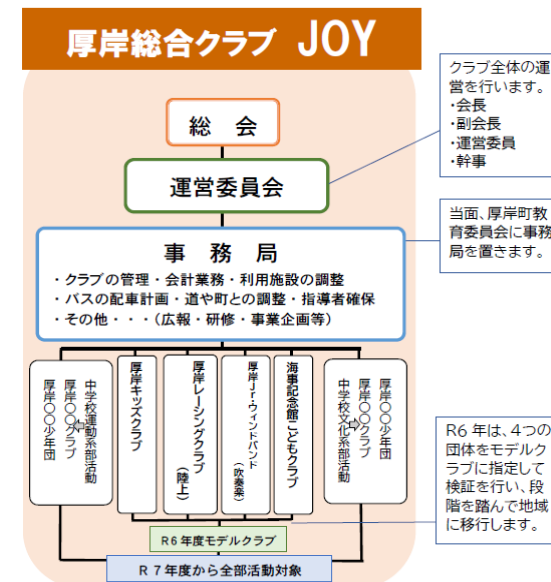
2.実証内容と成果

主な取組例

●厚岸レーシングクラブ（陸上） 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上
運営団体名	厚岸総合クラブJOY運営委員会
期間と日数	陸上：4月13日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	厚岸レーシングクラブ
活動場所	真龍中学校グラウンド
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	小学生年会費4,000円 中学生年会費4,500円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営委員長

役割：クラブ全体を管理監督し、会の運営を行う

●指導者 体育系クラブ2名

役割：地域指導者・・・各々のクラブの運営を行い生徒の指導を行う

：学校指導者・・・地域移行を進めるため、地域指導者の補助として生徒の指導にあたる

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○運動系のモデルクラブとして、町内中学校の陸上部の休日ににおける活動を地域クラブ活動とした。

○クラブ名を「厚岸レーシングクラブ」として活動した。

○6月に厚岸総合クラブJOYを設立し、当面教育委員会生涯学習課が事務局を担い、クラブが円滑に活動ができるようクラブの管理や指導助言を行った。

取組の成果

○地域指導者と学校部活動指導者が綿密に情報を共有することで、休日の活動がスムーズに行われていた。

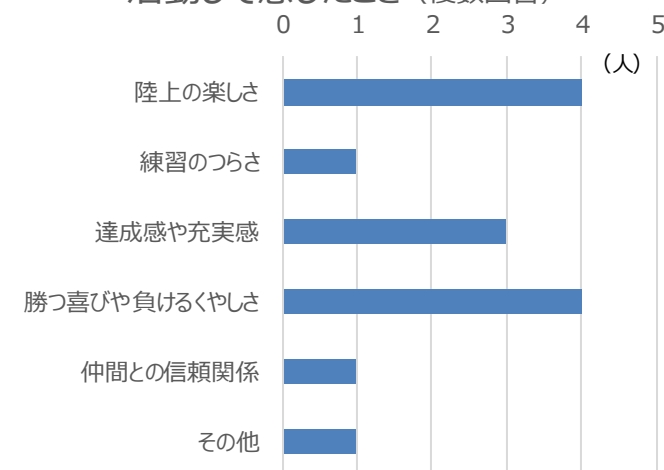
○各大会では、クラブチームとして出場した。

○児童中心の少年団を受け皿とした中学校陸上部の移行のため、クラブ員は児童・生徒で構成され、小中の連続した指導が可能となった。

○中学生9人を対象としたアンケートの結果、回答者した8名のうち4名が「陸上の楽しさ」「勝つ喜びや負けるくやしさ」を感じているなど、充実した活動の様子がうかがえた。

○雨天や冬季の練習会場については、管理人が常駐し管理している真龍中学校校舎を使用することができるようになった。

活動して感じたこと（複数回答）



（令和7年1月実施 生徒アンケートより）

今後の課題と対応方針

○運営クラブである厚岸総合クラブJOYの財源確保、指導者確保、移送手段の確保が最大の課題⇒R7年度中に道筋をつけていく。

○モデルクラブである厚岸レーシングクラブの成果と課題を生かして、R7年度はさらに中学校運動部活5団体の休日における地域移行を進める。

○高校生のコーチングスタッフを募集・養成することで、持続可能な指導者の確保を図っていく。

○休日の地域移行から平日をも含めた完全移行を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- 令和6年10月に厚岸総合クラブJOYサポーターバンクを設置し、指導者の確保に努めた。
- 指導者の資質向上を図る研修については、ケガや障害予防についての研修会を実施した。受講者からは今後の指導に役立つという声をいただいた。

人材バンクの人数

○3名

人材バンクの年齢構成

30代 1名
50代 2名

種 目

○陸上

資格有無

○指導者資格

サポーターバンクの構成

クラブ指導者

- 厚岸総合クラブJOYの活動の指導を行う。
- 中学生への指導を基本とするが、小学生や高校生も対象とした活動も想定。
- 指導日、報酬の額等は、JOY規定に基づく。

ボランティアスタッフ

- 厚岸総合クラブJOYの活動を指導者の監督の下、ボランティアスタッフとして支える。
- 報酬等はないが、スポーツ保険は、JOY規定に基づき事務局が加入する。

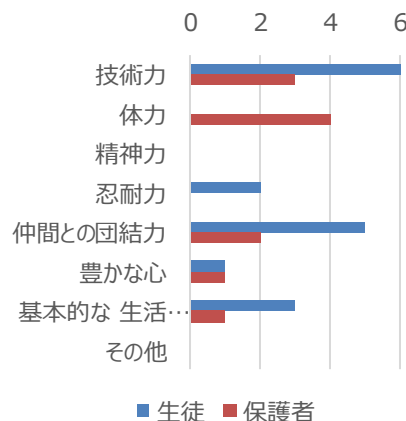
保護者スタッフ

- 厚岸総合クラブJOYのクラブに加入している子の保護者を対象とし、指導者の監督の下、クラブ活動を支える。
- 報酬等はないが、スポーツ保険は、事務局が加入する。

取組の成果

- アンケートから「技術力の向上」「仲間との団結力」を実感している生徒が多く、保護者の多くは、「体力の向上」と回答している。
- 地域指導者と学校部活動指導者が指導理念を共有して、平日の部活動、休日のクラブ活動での指導に生かしていた。
- 今後も、サポーターバンクのスタッフを3構成とし、指導支援体制の充実を目指し募集を継続していく。

成長の実感（複数回答）



(令和7年1月実施 生徒保護者アンケートより)

厚岸総合クラブ JOY サポーターバンク募集案内

厚岸町教育委員会では、中学校の部活動を地域に移行するにあたり、少年団や高校、スポーツ・文化団体の状況を踏まえ、本年6月に地域クラブ「厚岸総合クラブJOY」を設置したところ。今年度から土日に開催するクラブ活動をスタートし、段階的に中学校の部活動を地域クラブに移行しています。

【詳細は、裏面をご覧ください】

そこで、「厚岸総合クラブJOY」では、サポーターバンクを設置し、クラブ指導者、ボランティアスタッフ、保護者スタッフを募集いたします。

ボランティアスタッフ、保護者スタッフを募集いたします。

厚岸に住む子どもから大人まで、生涯にわたる学習や活動ができる環境づくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブ JOY サポーターバンクに

応募 しませんか！

「募集項目」①

野球・サッカー・バドミントン・バスケットボール・

陸上・吹奏楽のほか、運動系・文化系クラブ活動

の指導者、または、スタッフを募集します！

②厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

厚岸総合クラブJOYとは・・・

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 定例校長会議、教頭会議で、毎回クラブ活動の情報を提供。
- 児童・生徒・保護者・教職員を対象としたアンケート調査を実施し、ニーズをとらえた。
- 町内全小中学校教職員に、教育長から本町の取組を説明。
- 中学校3校のPTA総会で、事務局からクラブの取組を説明。
- 中学校1校に管理人を配置。
- 教育委員会が所有するスポーツバス等を活用。

取組の成果

- 校長会議などで、地域移行の状況について情報提供を行い、学校の理解を得ながら移行を進めることができた。
- 本町の小中学校全教職員を対象に、地域移行の状況を説明することにより、学校の理解がより進んだ。
- 休日に管理人を配置することで、雨天時や冬期間の校舎の活用が可能となり、学校管理職の負担を軽減することができた。
- 町議会では、複数回本町における部活動の地域移行について取り上げられ、「持続可能な生涯学習、生涯スポーツの環境を整える」ことについて説明した。
- 部活動の地域移行研修会（令和6年11月26日開催）を通して、先進事例や本町の取組の情報を共有することができた。

部活動指導者の負担感（複数回答）



（令和5年7月実施教職員アンケートより）

バス等の運行実績

- 日数 3日
- 利用者数 22人
- 運行内容
 - ・スクールバスを活用し、厚岸レーシングクラブの陸上競技大会出場時の送迎を行った。

バスの運航経費・収入

- ・運行委託料 85,554円
- ・利用料 なし

今後の課題と対応方針

- 教育関係者には、厚岸総合クラブJOYの取組状況は周知されているが、町民に対しての説明が不足しているとの指摘を受け、今後、町民や保護者に向けた説明会を実施予定。（令和7年2月26日開催予定）
- これまでの部活動のスクールバス活用から、地域クラブ活動のスポーツバス等の活用へ、契約変更の手続きなどを確実に進めていくことが重要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用問う
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○厚岸総合クラブJOYは、幼児から大人まで持続可能な生涯学習・生涯スポーツの環境整備を目的に、令和6年6月に設立。事務局は、当面教育委員会生涯学習課が担うこととし、令和9年度以降、完全移行（休日、平日ともに地域クラブ活動）を目指していく。

○令和5年7月に部活動の地域移行に係るアンケート調査を実施し、児童・生徒・保護者・教職員のニーズの把握に努めた。

○令和7年1月にJOY加入の生徒・保護者を対象にアンケート調査を実施した。

○令和6年度に指定した4モデルクラブの1つである厚岸レーシングクラブ（陸上）は、平日は部活動、休日は地域クラブ活動として、練習はもとより大会に積極的に参加し、活躍していた。

活動の詳細

参加人数	23名（内中学生9名）	指導者数	2人
属性	厚岸レーシングクラブ（陸上）		
具体的な内容	R 6年5月から平日は部活動、休日は地域クラブ活動（厚岸総合クラブJOY）として活動をスタートさせた。地域クラブ指導者は、厚岸町陸上少年団の指導者が担い、レベルの高い指導がなされることで、各種目、生徒の上達を評価する声は大きい。		
子供の声	- アンケートに回答した9名全員が「クラブ活動は充実している、どちらかという充実している」と答えている。 - 特に、仲間と練習しているときに充実していると回答している生徒が多い。		
関係者の声	- 小学生から中学生、高校生を含めた持続可能なクラブの在り方をモデルクラブを通して模索していく。（指導者） - これまでの部活動の取組や指導法などについて地域移行を進めていくためには、学校と地域の指導者間の綿密な連携が重要。（指導者）		
運営経費	運営経費は、指導者報酬と部活動地域移行検討協議会の旅費のみとなっている。 充実している時は（複数回答） （令和7年1月実施生徒アンケートより）		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

○中学校陸上部から移行した厚岸レーシングクラブは、地域で活動する厚岸陸上少年団を受け皿に活動を展開した。1年間の活動を通して、多くの成果と課題を検証することができた。

○R6年度は、真龍中学校グラウンドを主な活動場所として、平日は部活動として週4日程度、休日は厚岸レーシングクラブとして活動し、参加出場した大会は、厚岸レーシングクラブとして参加した。

○雨天時や冬季間は、真龍中学校校舎（管理人配置済み）を活用し、活動することができた。

今後の課題と対応方針

○R7年度、スポーツ系のクラブの地域移行（陸上・野球・サッカー）を進める上で、練習会場が真龍中学校グラウンドに集中するため、安全に活動できるよう活動場所の分けや練習時間帯の分散、町施設の活用など、環境を整えていく。

○大会に係る生徒の移送についても、バスの運行計画が煩雑にならないよう計画的な運行計画を策定し、送迎体制を組んでいく。

○現在1校が地域クラブである厚岸総合クラブJOYに加入している状況で

○部活動地域移行の実証事業の大きな成果の1つは、学校指導者と地域指導者の綿密な連携を前提とした生徒への指導である。平日の部活動の指導と、休日の地域クラブの指導の方向性を同じにすることで、生徒は混乱なく活動することができた。

○児童中心の少年団を受け皿とした中学校陸上部の移行のため、クラブ員は児童・生徒で構成され、小中の連続した指導が可能となった。

あるが、次年度以降複数校の生徒の加入となると、さらに冬場の生徒の送迎体制も課題となる。

○学校指導者から地域指導者へのスムーズな移行、さらには平日の移行を視野に入れると、指導者間の連携がより必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○厚岸レーシングクラブは、真龍中学校グラウンドで活動を開始した。しかし、雨天時や冬季間の練習場確保の声が指導者や文化クラブ関係者から上がった。そこで教育委員会は、11月から管理人を配置して休日の校舎やグラウンドを管理することとした。

取組の成果

- 管理人を配置することで、休日の管理職の負担を軽減することができた。
- 管理人を配置することで、スポーツ系のクラブも冬場やグラウンドが使用できない状況であっても、校舎内のスペースを利用して活動することができるようになった他、文化系の吹奏楽クラブの練習も音楽室での活動が可能となった。
- 管理人と指導者と事務局の連絡体制を確立することで、休日におけるクラブ活動の緊急時対応が可能となった。

今後の課題と対応方針

- 現在、真龍中学校の施設（グラウンド、体育館、音楽室、廊下）を活用し、地域クラブである運動クラブ、文化クラブが活動を行っている。今後、クラブ数が増えることから、他の学校や町有施設の活用を図り、活動環境を整えていく。
- 今後、休日における地域移行種目が増えることから、町内の学校施設の他、町有運動施設の活用を図っていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

厚岸総合クラブJOYは、幼児・小学生・中学生・高校生・大人すべてを対象とし、持続可能な生涯学習・生涯スポーツの活動環境を整えることを目的に、令和6年6月に設置した。事務局は、当面、教育委員会生涯学習課が担うこととし、4つの団体をモデルクラブにスタートした。運動系の団体は、中学校部活動から移行する「厚岸レーシングクラブ」と幼児から低学年児童を対象とした「厚岸キッズクラブ」の2団体である。文化系の団体は、中学校の部活動から移行する「厚岸Jr. ウィンドバンド」と、厚岸の自然や文化、歴史を学ぶ「海事記念館子どもクラブ」の2団体である。

厚岸総合クラブJOYの運営母体である運営委員会では、単に中学校部活動を地域に移行するのではなく、本町の恵まれた生涯学習環境を生かし、持続可能な活動環境を整えていくことを確認した。R7年度は、団体が4団体から11団体に増えるため、これまでの検証の成果を生かし、地域移行、地域展開を進めていく。

●成果の評価

厚岸総合クラブJOYを立ち上げて1年。成果というよりも、地域移行検討協議会で協議を重ねるたびに新たな課題が見つかることを繰り返してきた。ある委員が「課題という小さな石ころを拾いながら少しずつ進んでいるという感じですね。」と発言されていた。検討協議会発足当初から、すべて環境を整えてから新クラブを立ち上げるのではなく、一步でも前に進めながら課題を見つけ、モデルクラブの成果と課題を明らかにして検証を進めたからである。したがって、まだ成果を評価する状況にはないことから、引き続き課題を拾いながら、厚岸スタイルの地域移行、地域展開を進めていく。

●今後に向けて

各部活動との協議を進める中で、種目により課題が違ってくるのが浮き彫りとなった。指導者資格や審判資格が必要なクラブ、統一したユニフォームが必須のクラブ、単独ではチームが組めず他町村との合同チームを余儀なくされるクラブなど、課題は多様であり、部活動の地域移行が進まない要因の1つである。

全国的な共通課題として、指導者の確保、財源の確保、生徒の送迎手段の確保などがあげられているが、種目ごとの課題や本町のような小規模自治体の課題などともたらえたうえで、R7年度は休日における全部活動の地域移行、厚岸総合クラブJOYの地域展開を積極的に進めていく。

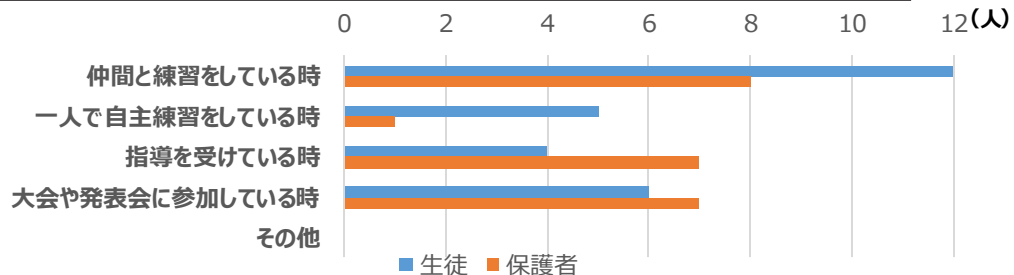
2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

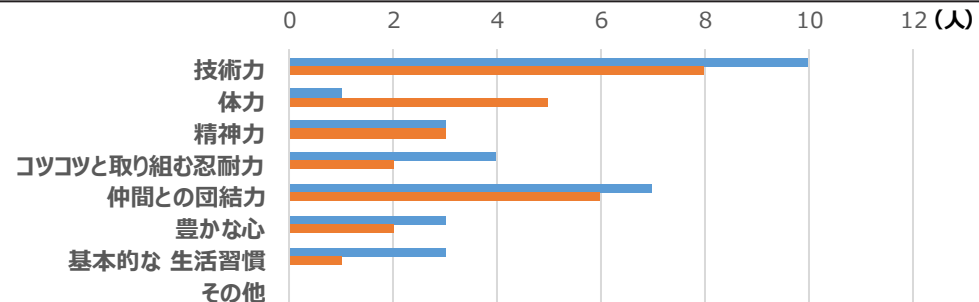
● アンケート結果 (令和7年1月実施生徒・保護者アンケートより)

回答数 生徒・陸上9名 吹奏楽4名
保護者・陸上5名 吹奏楽5名

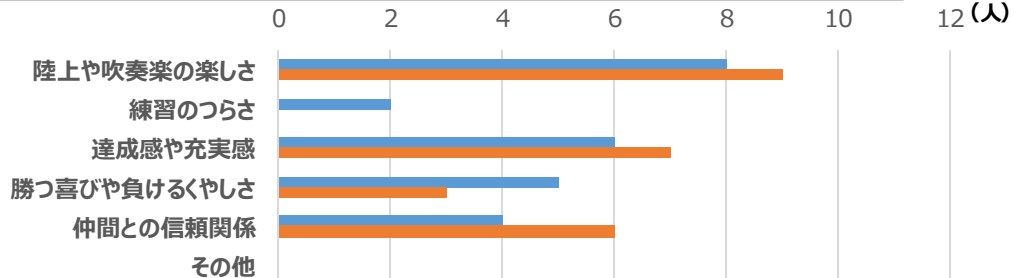
Q.総合クラブ JOY で活動して、どんな時が充実していますか？(複数回答)



Q.総合クラブ JOY で活動して、成長したと感じたことはどんなことですか。(複数回答)



Q.総合クラブ JOY で活動して、感じたことはどんなことですか。(複数回答)



● アンケートや聞き取りから

中学年生の声 (厚岸レーシングクラブ 陸上)

部活動や休日の練習をする中で、どんどん記録が伸びていくのがうれしい。監督はつきっきりで指導してくれる。課題を修正しやすい。

中学年生の声 (厚岸Jr.ウインドバンド 吹奏楽)

コンサートは、とても緊張したけど、たくさんのお客さんの前で発表することができた。

指導者 (指導者間協議の発言から)

地域指導者と学校指導者が綿密な情報共有のもと指導観を共有し、「楽しみたい」「上達したい」という意欲を高めていきたい。

保護者 (アンケートから)

完全に移行するまでは、物事が上手いかないこともたくさんあると思いますが、子どもたちの意見にも耳を傾けてほしいと思います。地域移行となったことで、文字通り、音を楽しむことができ、音楽を続けたいという気持ちにもらえて、大変ありがたく思っています。

2.実証内容と成果③

広報資料

○R6年度、部活動の地域移行を進めるにあたり、4月にモデルクラブ4団体の募集を行った。紙幅の都合上、4団体の活動の様子は、2次元コード紹介動画を視聴するスタイルとし、申し込みは、Web又は申込書で行うこととした。



厚岸レーシングクラブ
厚岸 Jr. ウィンドバンド (吹奏楽)
厚岸キッズクラブ
海事記念館 こどもクラブ

地域部活動

4月から段階的に
部活動が変わります！

部活動が学校から離れ、学校の枠にとらわれず誰でも自由に自分のやりたい活動を選択できるようになります！
令和6年度は、4つのモデルクラブを対象に、土日におけるクラブ活動を始めていきます！

モデルクラブ4団体

- ① 厚岸レーシングクラブ
- ② 厚岸 Jr. ウィンドバンド（吹奏楽）
- ③ 厚岸キッズクラブ
- ④ 海事記念館 こどもクラブ

各クラブの
紹介動画はこちら

詳しくは裏面をチェック！

【園児・児童・生徒への募集チラシ（表）】



令和6年度
何がかわる？ 厚岸の部活

モデルクラブ4団体の 活動紹介

1 厚岸レーシングクラブ

対象：小学生・中学生
活動場所：主に真龍中学校グラウンド
活動日：土曜日
会費：小学生 年間 4,000 円
中学生 年間 4,500 円
※大会参加費等はその都度必要になります。
指導者：小林敏美 他
☆高校生のコーチングスタッフを募集します！

2 厚岸 Jr. ウィンドバンド (吹奏楽)

対象：中学生
活動場所：今年度は真龍中学校
活動日：土曜午後の活動から実施
会費：部活動と合わせて 2,000 円 / 月
指導者：森脇智亮（他、厚岸町吹奏楽団員など）
活動予定：吹奏楽コンクール・吹奏楽フェスティバルなど
☆学校の枠を超えて一緒に吹奏楽を楽しもう！

3 厚岸キッズクラブ

対象：幼児4才から小学3年生
（保護者同伴必須）
活動場所：主に B&G 海洋センター
活動日：土曜日（月1回）
担当：生涯学習課 スポーツ係
会費：無料
☆幼少期に大切な基礎体力を高めます！

4 海事記念館 こどもクラブ

対象：小学4・5・6年生
活動場所：主に海事記念館
活動日：土曜日または日曜日（月1回）
担当：生涯学習課 海事記念館
会費：無料
☆活動をとおりて、厚岸町をもっと知りましょう！

○後日、入会された幼児・児童・生徒の保護者を対象に、説明会を開催します。
○第1期の中申込期限は、4月30日（火）といたします。申込方法は、「WEB（QR 読取）」「申込書の提出（学校または B&G 海洋センター）」のどちらかとなります。
○詳しくは、別紙「厚岸総合クラブ JOY スタート！」をご覧ください。不明な点は、厚岸町教育委員会生涯学習課（スポーツ係 TEL:0153-52-7785）までお問い合わせください。

キトリ

【厚岸総合クラブ JOY 入会申込書】

クラブ名			
氏名	保護者氏名		
学校名	学年		
住所	連絡先		

→ WEB 申込用 QR
（読み取りの上、必要情報を入力）

【園児・児童・生徒への募集チラシ（裏）】

2.実証内容と成果④

広報資料

○部活動の地域移行を進めるにあたり、児童、生徒、学校教職員、地域指導者、保護者等、様々な関係機関・関係団体に説明するための広報資料が必要となったことから、JOY事務局が作成した。特に、厚岸総合クラブ

ブJOYの方針や移行スケジュールなどをわかりやすくまとめることで、周知を図った。R7年度も移行部活動が多くなることから、広報チラシを作成し理解を図ってきたい。

【厚岸総合クラブJOYのチラシ（表）】



厚岸町教育委員会では、中学校の部活動を地域に移行するにあたり、少年団や高校、スポーツ文化団体等の状況を踏まえた上で、部活動地域移行検討協議会での協議を重ねてきました。令和6年4月に「厚岸総合クラブ JOY」を設置し、4つのモデルクラブを対象に土日に開催する部活動を進め、組織運営を中心に指導者や財源の確保などの検証を行います。

目指すもの

○幼児・小学生・中学生・高校生・大人すべてを対象とし、持続可能な生涯学習・生涯スポーツの活動環境を整えます。

そのために

- 国の委託事業に参加し、令和6年度はモデルクラブによる実証事業を通して、厚岸スタイルの総合クラブの運営を検証します。
- 当面教育委員会が運営委員会の事務局を担い、総合クラブの運営を行います。
- 地域移行への理解を深めるため、保護者・市民を対象とした説明会を開催します。
- 学校部活動指導者と地域クラブ指導者との連携を図り、スムーズな地域移行を進めていきます。

厚岸レーシングクラブ
・厚岸陸上少年団を受け皿としたクラブチーム
・対象 小学生・中学生・高校生
・土曜日の活動から始めていきます。
・練習内容や大会の参加など、活動全般を検証します。

厚岸吹奏楽クラブ(仮称)
・厚岸町吹奏楽団を受け皿とした団体
・対象 小学生・中学生
・土曜日の活動から始めていきます。
・練習内容や大会の参加など、活動全般を検証します。

R6年度モデルクラブ

厚岸キッズクラブ
・幼少期の基礎運動を重視した活動
・対象 幼児4歳～小3までのキッズ
・土曜日に活動(月1回)
・生涯学習課スポーツ係が担当し、運営全般を検証します。

海軍記念館子どもクラブ
・天体・歴史・自然観察・工作など、厚岸町の自然や歴史、科学全般を体験する活動
・対象 小学4・5・6年生
・土曜日に活動(月1回)
・海軍記念館の職員が担当し、運営全般を検証します。

厚岸町における部活動地域移行スケジュール



全部活動の完全移行

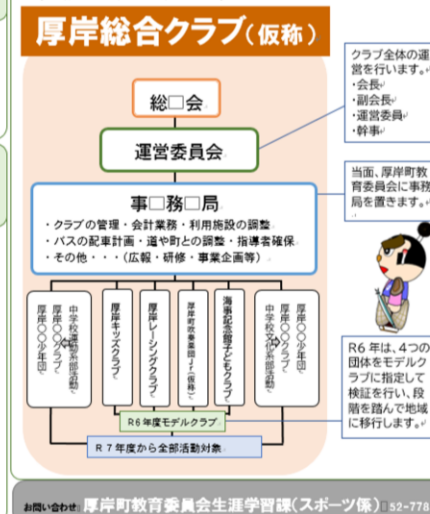
【厚岸総合クラブJOYのチラシ（表）】

部活の地域移行 Q&A

- Q1** なぜ、中学校の部活動を地域に移行するのですか？
A 要因は大きく3つがあり、全国、北海道、厚岸町共通となっています。
1 〇生徒の人数が減少していること
2 〇部活動の数が減少していること
3 〇教職員の働き方改革がすすめられていること
このままだと、いずれ部活動が立ち行かなくなることが予想されるため。
- Q2** 国や道は、どのような方向性を示していますか？
A 令和5年度から7年度までの3年間を「改善推進期間」として、地域の実情に応じて部活動の地域移行の是非を判断を促しています。北海道も厚岸町も同様の方向でスケジュールを立てています。
- Q3** 令和5年6月に実施した児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果を知ることができますか？
A はい、右の2次元コードから、アンケートの結果と分析の概要をご覧ください。
- Q4** クラブになると会費などが必要になると聞きましたが、保護者の負担はあるのでしょうか？
A はい、部活動のクラブ化により、主に指導者へ支払う報酬のための会費が必要となります。過度な負担とならないように、国や道、町の補助も含め、実証事業の中で検証していくことになります。
- Q5** 中学校の部活動の地域移行が、なぜ、厚岸町では幼児・児童・生徒・大人すべてを対象とした地域クラブ活動になるのですか？
A 町のスポーツ団体・文化団体・教育関係者の代表で構成する「厚岸町部活動地域移行検討協議会」で、中学校の部活動の地域移行をすすめる上で、持続可能な生涯学習・生涯スポーツの活動の環境を整えることを重視して協議を重ねてきました。
厚岸町内では、これまで少年団や団体の活動が活発に行われてきました。また、生涯学習課の様々な事業にも子どもから大人まで多くの町民が参加しています。これらの活動を受け皿に、これまでの学校部活動を「地域クラブ活動」として町内規模で組織化することで、生涯にわたり学習や活動ができる環境づくりを目指します。

Q6. 厚岸総合クラブ(仮称)は、どのような組織でどのような運営になるのですか？

運営内容としては、指導者の確保や活動施設の確保、バス等の記事計画、保険・会計など、所属団体共通の業務を行います。所属団体個別の業務などは、団体組織の中で対応いただくことを想定しています。



2.実証内容と成果⑤

広報資料

部活の地域移行研修会の案内チラシ

R6年11月26日に部活動の在り方検討支援アドバイザーを講師に研修会を開催した。参加者から多くの質問がなされ、講師から回答いただいた。

厚岸総合クラブJOY説明会案内チラシ

R7年2月26日に、町民、保護者、教職員、指導者を対象とした説明会の案内チラシ。

企業版ふるさと納税チラシ

R6年10月18日にWeb上で募集を開始した。現在、内閣府総合サイト地方創生の企業版ふるさと納税ポータルサイト掲載中。

R6部活の地域移行研修会のご案内

どうなるの？

部活の地域移行

今の厚岸の現状は？

誰が指導するの？

地域に移行しないとうなるの？

活動の参加費用は？

部活動の地域移行をすすめている北海道教育委員会のアドバイザーから、全国的な動きや他地域の実践例などのお話を聞き、質問などの交流を通して、みんなで「厚岸のこれからの部活動の在り方」を考えます。

日時 令和6年11月26日(火)
午後6時00分～午後7時30分

会場 B & G 海洋センター

参加対象 小中高等学校の保護者や教職員、部活や少年団の指導者ほか、厚岸町民どなたでも

講師 部活動の在り方検討支援アドバイザー
伊端隆康氏

【問い合わせ】
厚岸町教育委員会生涯学習課(スポーツ係) ☎52-7785

部活動の地域移行から地域展開へ

つくり、まちづくり

厚岸総合クラブJOY説明会

対象 町民・保護者・教職員・指導者

令和7年
2月26日 水
18:30～19:30

会場 真龍小学校体育館
(事前申し込みは不要です。)

POINT1 / 厚岸総合クラブJOYって？
これから中学校の部活動は、全国的に学校から地域に段階を踏んで移行されます。そこで厚岸町では、幼児から大人まで生涯学習・生涯スポーツができるよう、昨年「厚岸総合クラブJOY」を立ち上げました。

POINT2 / 説明会の内容は？
総合クラブJOYのこれまでの取組や、モデルクラブの成果について報告いたします。また、これからのスケジュール、活動する上での課題などもお知らせいたします。(質問もたくさんあればうれしいです)

POINT3 / 来ていただきたい方！
厚岸総合クラブJOYの活動は、ひとづくり、まちづくりを担います。保護者・教職員・指導者の他、多くの町民に参加いただいで、厚岸町の生涯学習環境について、考えていきたいと思います！

お問い合わせ 厚岸総合クラブJOY事務局
厚岸町教育委員会生涯学習課B&G海洋センタースポーツ係 ☎52-7785

(北海道厚岸町) 厚岸総合クラブ JOY に「あつけし」で、豊かに学び、育つ
生涯学習社会実現プロジェクト **ご支援を！**

厚岸町の紹介

- 厚岸町は、北海道の東に位置し、人口は約8,200人
- 「花と味覚と歴史のまち」
- 令和3年に「厚岸露多布昆布森国定公園」に指定
- 牡蠣やアサリをはじめとした豊富な海産物、冷涼な気候での節電など、1次産業を基幹産業として発展
- オリンピックメダリストやプロ野球選手を輩出するなどスポーツ活動に力を入れているとともに、生涯学習環境が充実

厚岸町
町の公式キャラクター うみえもん

学校・地域のスポーツ・文化活動をめぐる背景

- 児童生徒数が、S62年に比べ1/4に減少
- 部活動数や少年団数が激減(児童・生徒は活動を選べない)
- 教員の働き方改革の推進

このままでは、地域からスポーツ・文化活動がなくなる！

そこで

- 部活の地域移行準備委員会を立ち上げ検討
- 「地域クラブ」を立ち上げ、モデルクラブで検証
- 国の実証事業への積極的な参加

令和6年6月 厚岸総合クラブ JOY 設立

目指すもの
幼児・小学生・中学生・高校生・大人すべてを対象とし、持続可能な生涯学習・生涯スポーツ活動を目指す「厚岸総合クラブ JOY」の運営

課題

- 地域指導者の確保
- 練習会場や移動手段の確保
- 運営資金の確保

→サポーターバンクの設置
→運営委員会事務局が担当
→保護者からの会費
自治体等からの財政支援
企業様等からの寄付金・協賛金

2.実証内容と成果⑥

参考資料（活動写真）



【厚岸レーシングクラブの活動の様子】



【厚岸Jr.ウィンドバンドの活動の様子】



【厚岸キッズクラブの活動の様子】



【海事記念館子どもクラブの活動の様子】

2.実証内容と成果⑦

参考資料（活動写真）



【厚岸町部活動地域移行検討協議会の様子】



【厚岸総合クラブJOY運営委員会の様子】



【他市町村とのリモート会議による情報共有の様子】

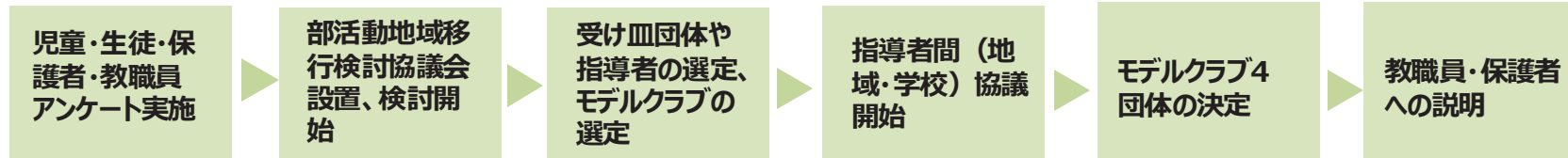


【中学校保護者説明会の様子】

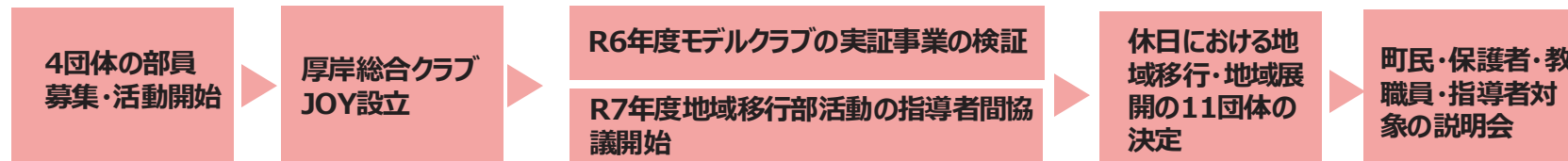
2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年度



令和6年度



令和7年度

中学校全部活動の休日における地域移行

令和8年度

一部中学校の平日における地域移行（一部部活動の完全移行）

令和9年度以降

全部活動の完全移行

ステークホルダー

○学校、校長会、教頭会、町長部局、町教委、文化協会、体育協会、各スポーツ団体、各文化団体

経過

○令和5年度より厚岸町部活動地域移行検討協議会を設置し、推進計画を策定した。協議会では、地域移行に関する学習とモデルクラブを決定し、令和6年度から実証事業の検証を行った。

実施内容

○厚岸総合クラブJOYを立ち上げ、4団体（陸上クラブ、吹奏楽クラブ、子どもクラブ、キッズクラブ）が活動を開始した。検討協議会では、R7年度の移行部活動の検討を始めた。

課題と今後の展開

○財源の確保、指導者の確保、生徒の移送手段の確保が大きな課題となる。生涯学習社会の実現の具現化ともいえる厚岸総合クラブJOYの地域展開を町ぐるみで支える仕組みづくりが不可欠である。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

厚岸町における部活の 地域移行スケジュール

R5

- R5・6 厚岸町における部活動の地域移行に関するアンケート調査
- R5・7 厚岸町部活動地域移行検討協議会の設置
- R5・9 「みんなで考える部活の地域移行」研修会（町民・保護者・指導者対象）
厚岸町部活動地域移行に関する推進計画策定
- R5・10 部活指導者との面談協議開始
- R5・12 少年団・団体との面談協議開始
- R6・2 運営組織・モデルクラブの検討・決定

R7

◇中学校全部活動の休日における地域移行

- 1 11団体の休日における活動（部活動の地域移行、クラブの地域展開）
 - ・4月 募集開始 ⇒ クラブ活動開始
 - ・地域クラブ活動への移行に向けた実証事業の継続
- 2 持続可能運営の在り方検討
 - ・財源（会費、自治体等負担金、寄附・協賛金の見直し）
 - ・指導者の確保
 - ・バスの移送（大会参加に係るバスの確保）
- 3 平日における部活動の地域移行の検討
 - ・7種目の中から平日に移行するクラブの検討
- 4 児童・生徒・保護者・教職員へのアンケート調査
 - ・これまでの検証とこれからの事業について
- 5 実証事業の終了に伴う次年度からの見直し

R8

◇一部中学校部活動の平日における地域移行（一部部活動の完全移行）

- 1 一部部活動の完全移行に伴うクラブ運営
- 2 R9年度以降の全部活動完全移行に向けた準備

R6

◇モデルクラブ4団体における休日の地域移行

- R6・4 モデルクラブ募集・活動開始
- R6・6 厚岸総合クラブJOY設立
- R6・10 厚岸町版指導者バンクの設置
企業版ふるさと納税Web募集開始
- R6・11 真龍中に施設管理人配置
部活動地域移行説明会・研修会
- R7・2 地域に移行する部活動の決定 厚岸総合クラブJOY保護者説明会

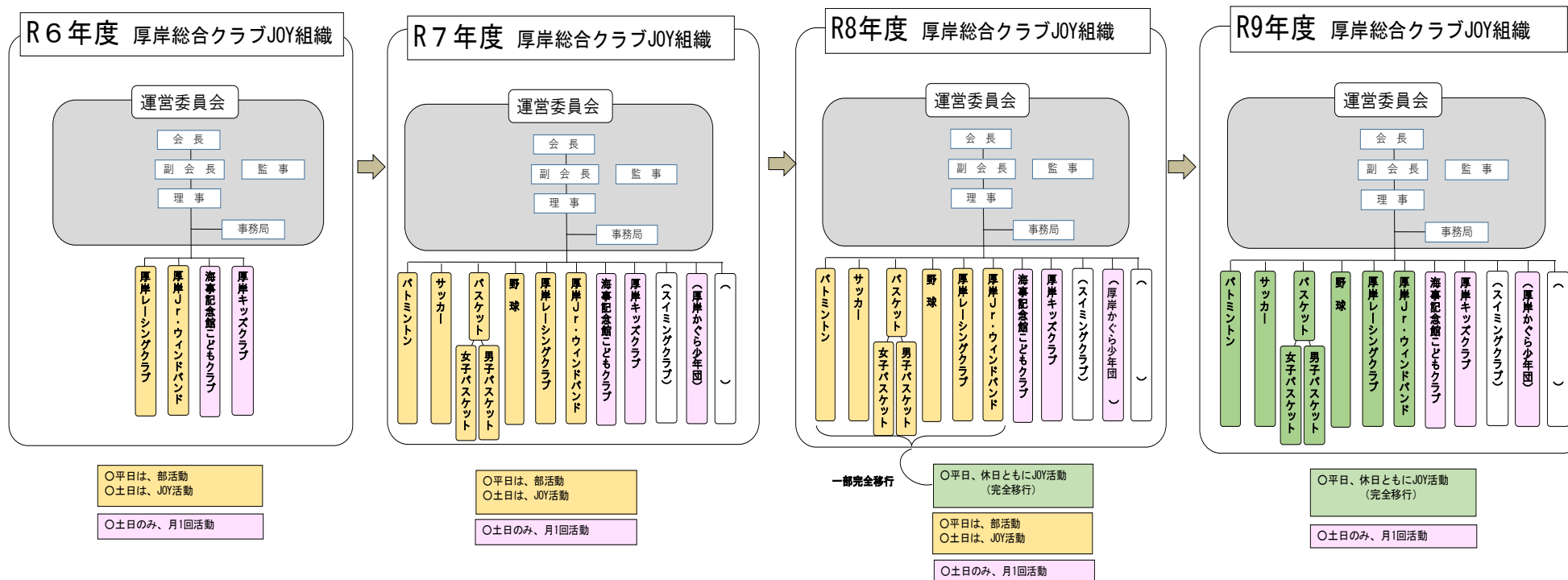
R9
以降

全部活動の完全移行

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

厚岸町における部活動の地域移行、厚岸総合クラブJOYの地域展開



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

北海道標茶町

自治体名：北海道標茶町

担当課名：教育委員会社会教育課

電話番号：015-485-2040

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	1099.37 km ²
人口	6,881人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	188 人
部活動数	7部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

標茶町における運動系部活動については、中学校 3 校で 7 部活動が活動している。そのうち 1 校については、バドミントン部があったが部員がいなくなったため現在は休部状態となっている。

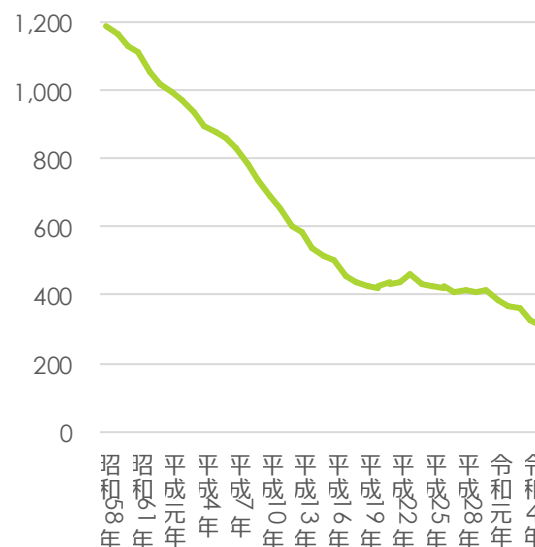
令和 6 年度の活動内容としては、標茶中学校の 2 部活動（卓球部、陸上部）が、平日は学校部活動として活動し、休日の活動については地域クラブ活動に移行した。地域で指導可能な人材がいたとはいえ、円滑な移行のため、当面

は学校部活動顧問の教員も地域指導者として活動に加わっている。

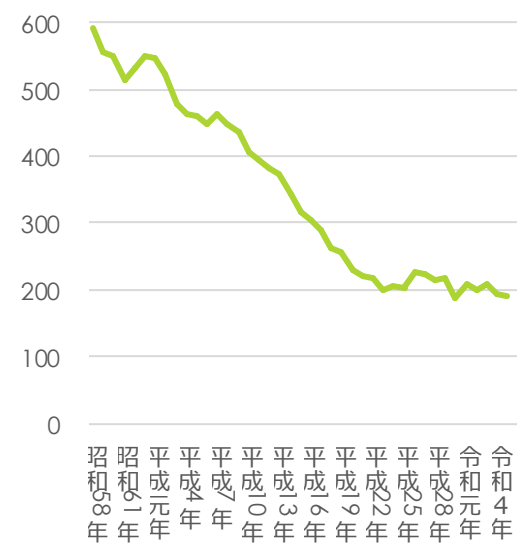
本町は、児童生徒数の減少に伴い、少年団に加入する児童も減少傾向であるが、陸上少年団と中学校陸上部が合同で練習するなど、小中連続したクラブ活動の環境が整った。

また、柔道少年団など活発に活動している少年団もあるため少年団との連携も検討していきたい。

標茶町小学校児童数



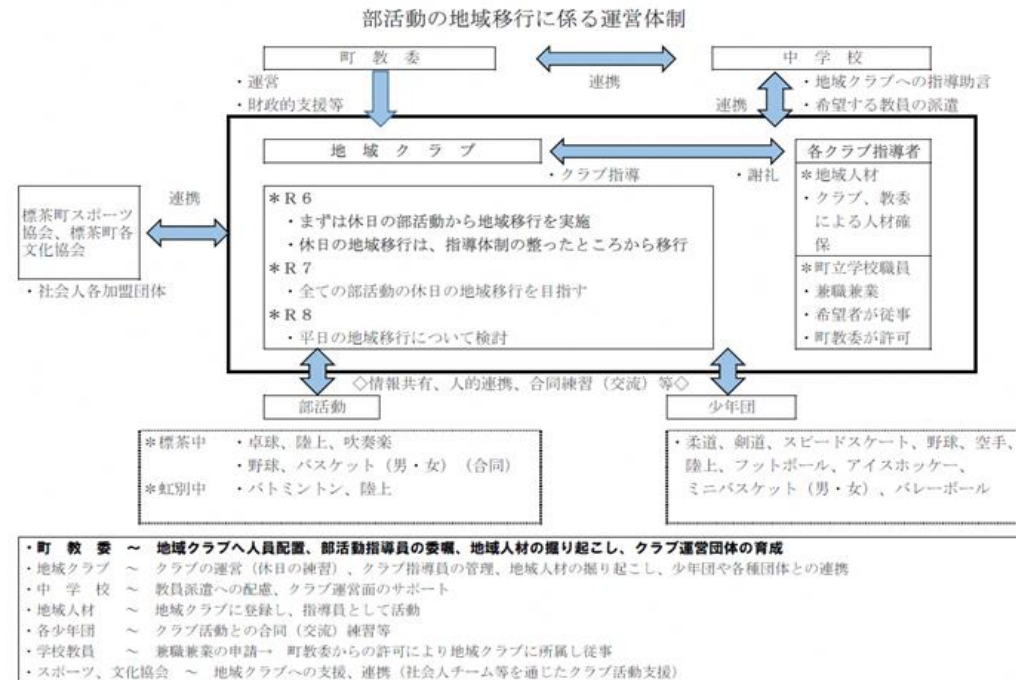
標茶町中学校生徒数



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・地域クラブ設置に係る規則等整備
- ・先行して取り組む部活動による施行実践
- ・謝礼支払や連絡調整等の事務全般

◎町長部局

- ・予算措置

年間の事業スケジュール

月	日	内容
4	1	外部指導者登録開始
	30	標茶中学校卓球部保護者説明会
5		標茶町地域クラブ指導者バンク募集開始
	1	第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
		陸上部活動開始
	11	卓球部活動開始
8	1	部活動在籍生徒向けアンケート調査実施
	28	第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
	12	第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
	13	中学校部活動に関するアンケート調査実施 (小学4～6年・中学1、2年、その保護者)
令和7年	1	23 第2回部活動・地域クラブ活動関係者会議事例発表

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（2）		標茶中学校陸上部 標茶中学校卓球部
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
標茶中学校 陸上部	標茶町 地域クラブ	陸上	月 4 回	9 時～ 12 時	中 1 5 名 中 2 7 名 中 3 5 名	4 月～ 3 月	標茶中学校 グラウンド ほか	3 人 (内 外 部指導者 1 人)	2 人	無	部活動として
標茶中学校 卓球部	標茶町 地域クラブ	卓球	月 4 回	9 時～ 12 時	中 1 8 名 中 2 8 名 中 3 18 名	4 月～ 3 月	標茶中学校 体育館	3 人 (内 外 部指導者 1 人)	2 人	無	部活動として

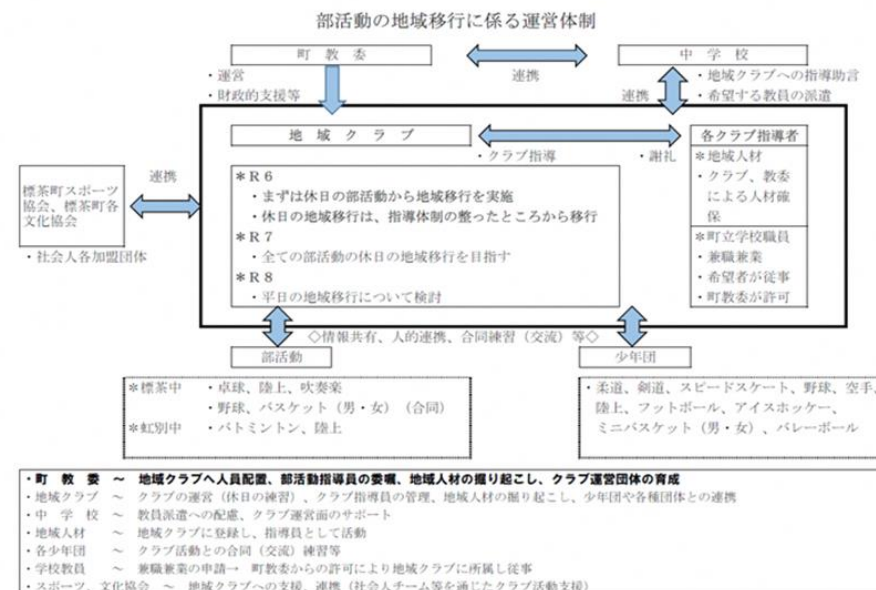
2.実証内容と成果

主な取組例

●標茶中学校陸上部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上
運営団体名	標茶町地域クラブ
期間と日数	陸上：5月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	標茶中学校
活動場所	標茶中学校グラウンド ほか
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	中学生年会費 0円 （令和6年度未徴収）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営スタッフ

役割：教育委員会が担い、謝金事務や連絡調整を行う

●指導者 中学校教員 2名 外部指導者 1名

役割：地域指導者・学校指導者とともに生徒の指導を行う

：学校指導者・地域移行を進めるため、地域指導者の補助として生徒の指導にあたる

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○「標茶町地域クラブ」として標茶中学校の卓球部及び陸上部の休日における活動を地域クラブ活動した。

○当面教育委員会社会教育課が事務局を担い、クラブが円滑に活動ができるようクラブの管理や指導助言を行った。

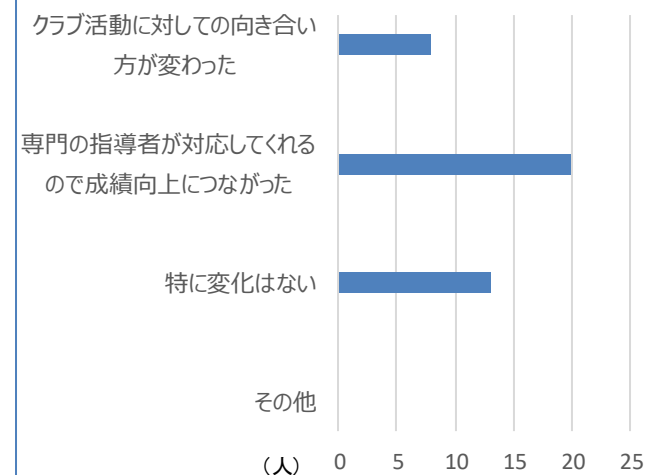
取組の成果

○地域指導者と学校部活動指導者が綿密に情報を共有することで、休日の活動がスムーズに行われていた。

○児童中心の少年団の指導者を外部指導者として受け入れることができたため、クラブ員は児童・生徒で構成され、小中の連続した指導が可能となった。

○部活動に在籍している生徒を対象としたアンケート（スポーツ・文化同時調査）を実施し、41名から回答をいただき、31名から土日の活動が「前より良くなった」との意見をいただき、充実した活動が行われていることが確認できた。他の10名は「前と変わらない」という回答で「前よりやりづらくなった」という意見は0名であった。

地域移行して変化はありましたか？



(令和7年1月実施 生徒アンケートより)

今後の課題と対応方針

- 運営クラブである標茶町地域クラブの財源確保、指導者確保、移送手段の確保が最大の課題⇒R7においても引き続き検討。
- 先行して移行したクラブの成果と課題を生かして、R7年度はさらに中学校運動部活残り5団体の休日における地域移行を進める。
- 休日の地域移行から平日をも含めた完全移行を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○令和6年5月に標茶町地域クラブ指導者バンクを立ち上げ、指導者の確保に努めた。

○町の広報誌にチラシ折り込みを行い広く人材を募った。

人材バンクの人数

○1名

バンク応募者の年齢構成

50代 1名

種目

○剣道

資格有無

○指導者資格

指導者バンクについて

クラブ指導者

○標茶町地域クラブの活動の指導を行っていただくため、現在ある活動にとらわれず、幅広く募集した。

○指導日、報酬の額等は、標茶町地域クラブ規定に基づく。

取組の成果

○地域クラブ在籍生徒アンケートから「専門のコーチがきてくれたから専門的なことを学べるようになった」とか「一人ひとりに細かく丁寧に教えてくれる」などきめの細かい指導をしていただいていると感じ取れます

○一方で、応募者が1名にとどまっているため、さらなる周知の必要性がある。

○今後も、応募を継続し指導者の確保に努めたい。

○外部指導者への指導・研修については実施することができず、外部講師やアドバイザー派遣制度等を利用し実施させたい。

部活動の地域移行が始まります

標茶町地域クラブ 指導者バンク登録者募集！

中学校部活動の地域移行に伴い、標茶町では、現在中学校で行われている部活動を、段階的に「地域クラブ」に移行していきます。
そのために必要な指導者の確保が、大きな課題となっています。
そこで、令和7年度から「地域クラブ活動」の指導者として協力していただける方を募集いたします。
子どもたちと共に、スポーツや文化・芸術活動に励んでくださる方をお待ちしています。

募集条件等

- 募集内容 外部指導者（地域クラブ活動における専門的指導）
- 募集資格 青少年の健全育成に十分理解を有する20歳以上の者
- 業務内容 地域クラブ活動における練習及び練習試合等の指導等
(内容は部活により異なります)
- 指導日及び時間 土日のうち1日、3時間以内
- 活動場所 町内の学校及び公共施設

指導者バンク登録までの流れ

- (学校教員の場合は学校を通して申請していただきます)
- 募集案内 QRコードから申し込みいただけます。
 - 教育委員会から連絡を差し上げます。
 - 連絡先：(標茶町教育委員会 社会教育課 0154-85-3040 担当：伊藤)
 - 申し込みいただいた方には、別途申請書に必要事項を記入していただきます。
 - 申し込みをうけて、指導者バンク登録の可否を決定させていただきます。
 - ※登録された方は、令和7年度からの活動にあたり当該部活動の担当者と相談(説明)をさせていただきます。

現在実施しているスポーツ、文化活動

- 現在の部活動
 - 【標茶中学校】
 - 〈単独〉吹奏楽、卓球、陸上、男子バスケット
 - 〈合同〉野球、女子バスケット
 - 【虹別中学校】
 - バドミントン、陸上
- 少年団等の活動
 - ・柔道
 - ・剣道
 - ・空手
 - ・陸上
 - ・フットボールクラブ
 - ・ミニバスケット
 - ・スピードスケート
 - ・アイスホッケー

※生徒が将来的に持続可能な場合、新たなクラブ(写真クラブ、絵画クラブ等)も含め受け付けます。
地域の活性化のため、まずは指導者バンクへ登録をお願いします。
※将来的には「平日」の指導も含めたいと思いますが、まずは、土日の部活動から進めていきます。

学校の部活動と地域クラブ活動の違い

- | これまでの学校の部活動 | これから移行するクラブ活動 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □学校の管理下で行われる活動 □教員の顧問が配置され、学校の教育活動の中で活動が行われる □学校の部活動に入学 □怪我、事故の際の保険は災害共済給付制度にて対応 | <ul style="list-style-type: none"> □学校の管理外で行われる活動 □運営の主体は教育委員会、地域クラブ運営事業者 □地域クラブ活動に加入 □保険は民間の保険にて対応 □指導費が支給されます |

自分の時間をとれ、やり甲斐があります。

部活動地域移行とは？

あなたも、指導者として、共に子どもたちや地域の未来を支えていただけませんか？
まずは指導者バンクへ登録を！

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 部活動地域移行検討委員会に委員として各学校長にも参加していただき、クラブ活動の情報を共有した。
- 児童・生徒・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、ニーズをとらえた。
- 中学校のPTA総会へ出向き、事務局から地域移行の取組を説明した。

取組の成果

- 校長会議などで、地域移行の状況について情報提供を行い、学校の理解を得ながら移行を進めることができた。
- 町議会では、6月定例会において本町における部活動の地域移行の進捗状況について取り上げられ、「2つの部活動において試行実践を開始」したことについて説明した。
- 部活動地域移行検討委員会（令和6年12月10日開催）にて、部活動の在り方支援検討アドバイザーの熊耳氏をお招きし新たな地域クラブ活動について、運営母体の法人化についてなどの話を聞くことができた。

今後の課題と対応方針

- 教育関係者や検討委員には、標茶町地域クラブの取組状況は周知されているが、町民に対しての説明が不足しているとの指摘を受け、今後、町民や保護者に向けた情報発信の機会が必要と感じている。
- これまでの部活動のスクールバス活用から、地域クラブ活動でのバス等の活用について、関係各所との協議を進めていくことが重要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 現在、標茶中学校の2つの部活動を先行して実施しているが他の中学校においても移行を進めるべく準備を進める。
- 該当となる学校の学校長から状況の聞き取りを実施。

取組の成果

- 他の部活動の活動状況、所属人数等の状況聞き取りを実施。
 - ・虹別中学校 陸上部 6名
バドミントン部 9名
新年度9名入学予定。
 - ・中茶安別中学校 バドミントン部 部員減少により休部中だが、新年度3名入学予定であるため状況により再開の可能性あり。

今後の課題と対応方針

- 移動手段の確保や各々の場所で活動するか活動場所を集約させるかの検討が必要。
- 今後、ますます生徒数が減っていく状況において実施する活動の種目の検討も必要。
- 指導者の確保が難しい地区もあり、指導者の確保も課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用問う
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- 標茶町地域クラブは、幼児から大人まで持続可能な生涯学習・生涯スポーツの環境整備を目的に、令和6年4月に設立。事務局は、当面教育委員会社会教育課が担うこととし、令和8年度までに平日を含めた移行について検討を進め、令和9年度以降、完全移行（休日、平日ともに地域クラブ活動）を目指していく。
- 令和5年6月及び令和6年12月に部活動の地域移行に係るアンケート調査を実施し、児童・生徒・保護者・教職員のニーズの把握に努めた。
- 令和6年8月に先行実施の生徒を対象にアンケート調査を実施した。

取組の成果

- 標茶町中学校卓球部及び陸上部では1年間の活動を通して、多くの成果と課題を検証することができた。
- 卓球部及び陸上部ともに、現行の部活動に外部指導者が入り込み指導するというスタイルを確立させ学校指導者とともに質の高い指導を進めることができ、生徒へのアンケートにおいても概ね良好な意見をいただいている。
- 部活動地域移行の実証事業の大きな成果の1つは、学校指導者と地域指導者の綿密な連携を前提とした生徒への指導である。平日の部活動の指導と、休日の地域クラブの指導の方向性を同じにすることで、生徒は混乱なく活動することができた。

今後の課題と対応方針

- 令和7年度では、他のスポーツ系のクラブの地域移行（野球・バドミントン・スケッチボール）を進める上で、練習会場が標茶中学校グラウンド及び体育館に集中するため、安全に活動できるよう活動場所の分けや練習時間帯の分散、町施設の活用など、環境の検討が必要。
- 学校指導者から地域指導者へのスムーズな移行、さらには平日の移行を視野に入ると、指導者間の連携がより必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 標茶中学校陸上部は、学校グラウンド及び標茶高等学校グラウンドを借用し活動。
- 標茶中学校卓球部は、学校体育館で活動。

取組の成果

- 従来の部活動のまま学校施設において活動することができた。

今後の課題と対応方針

- 今後、クラブ数が増えた場合、他の学校や町有施設の活用を図り、活動環境の検討が必要。
- 学校施設や備品（ボール等）を使用させていただいている状況であり、道具の補充や破損時等の対応についてルール策定を急ぐ必要がある。
- 現在学校内における活動場所を区切る施設はされていないため、施設方法等対策を急ぐ必要がある。
- 他の2つの中学校については対応未検討であるため対応を急ぐ必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

標茶町では、先行して2つの部活動について、実証事業を活用することにより円滑に運営を進めることができるよう取り組みを行ってきた。標茶町地域クラブとしては、幼児・小学生・中学生・高校生・大人すべてを対象とし、持続可能な生涯学習・生涯スポーツの活動環境を整えることを目的に、令和6年4月に設置された。実施主体としては当面、教育委員会社会教育課が事務局として担うこととし、2つの部活動で試行実践をスタートさせた。標茶中学校の陸上部及び卓球部の2団体である。

標茶町地域クラブの運営母体である運営委員会は、地域移行検討委員会メンバーが担うこととし、単に中学校部活動を地域に移行するのではなく、持続可能な活動環境を整えていくことを確認した。令和7年度は、団体が2団体から7団体へ増加する計画であるため、これまでの検証の成果を生かし、地域移行、地域展開を進めていく。

●成果の評価

標茶町地域クラブを立ち上げて1年が経過しようとしている。成果というよりも、地域移行検討委員会で協議を重ねるたびに新たな課題が見つかることを繰り返してきております。検討委員会発足当初から、すべて環境を整えてから新クラブを立ち上げるのではなく、歩きながら課題を見つけ、モデルクラブの成果と課題を明らかにして検証を進めていくということが常々話がでていた。したがって、まだ成果を評価する状況にはないことから、引き続き課題を拾いながら、標茶スタイルの地域移行、地域展開を進めていきたいと考えている。

●今後に向けて

各部活動との協議を進める中で、種目により課題が違ってくるのが浮き彫りとなった。指導者資格や審判資格が必要なクラブ、統一したユニフォームが必須のクラブ、単独ではチームが組めず他町村との合同チームを余儀なくされるクラブなど、課題は多様であり、部活動の地域移行が進まない要因と考えている。

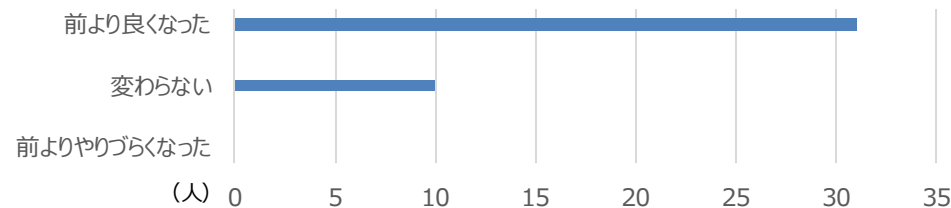
全国的な共通課題として、指導者の確保、財源の確保、生徒の送迎手段の確保などがあげられているが、種目ごとの課題や本町のような小規模自治体の課題などともたらえたうえで、R7年度は休日における全部活動の地域移行、標茶町地域クラブの地域展開を積極的に進めていく。

2.実証内容と成果②

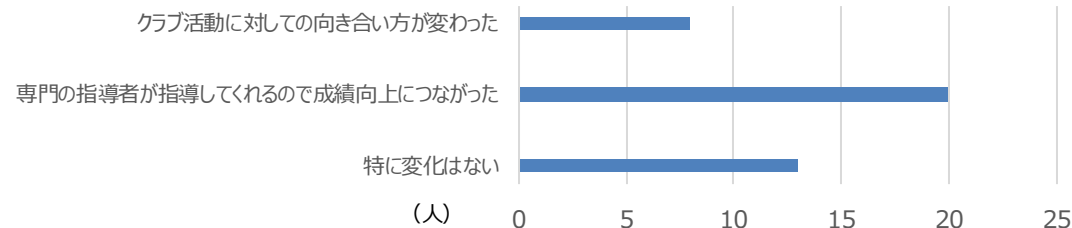
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果 (令和6年8月実施生徒アンケートより) 回答数 卓球 15名 陸上 10名 (吹奏楽部 16名)

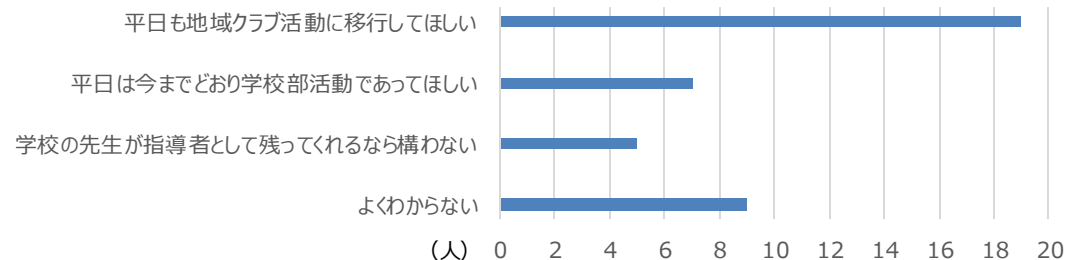
Q.土日の活動が地域クラブ活動となりましたがどう感じていますか。



Q.地域移行した土日のクラブ活動によって何か変化はありましたか。



Q.今後平日の活動も地域クラブ活動に移行する予定ですがどう思いますか。



●アンケートや聞き取りから

中学1年生の声 (陸上部)

外部指導者がきてくれてたくさんの事を教えてくれて充実している。

中学1年生の声 (陸上部)

フォームの改善など自分に合ったメニューが増えた。取り組む事がはっきりして充実した活動になった。

中学3年生の声 (卓球部)

地域の人に来てくれて専門的な事を学ぶことができるようになった。

指導者 (活動報告書から)

当初は週に1回の指導では生徒の全員とのコミュニケーションが難しいと感じた。ただ、指導をしていくにつき選手たちにチームとしての団結ややる気が見えてきた。

保護者 (アンケートから)

指導者側の資質はどう測っていくのか。最も難しく重要な事だと思います。スポーツの世界でも指導者の高圧的な態度などが問題となっていると思うので。

2.実証内容と成果③

広報資料

○部活動の地域移行を進めるにあたり、児童、生徒、学校教職員、地域指導者、保護者等、様々な関係機関・関係団体に説明するための資料が必要となったことから、教育委員会が作成した。

【地域移行説明のチラシ（表）】



「部活動の地域移行」が始まります

背景

- 少子化、学校の小規模化が進み、生徒・指導者ともに確保できず廃部となるケースが増え、もはや**学校単独で部活動を維持することが困難**になっています。
- 一方で小学校や地域では、すでに少年団やクラブ活動等、スポーツや文化芸術活動を支える組織があり、**専門的・継続的な指導によって成果をあげています。**
- 国や道は、中学校の部活動を学校から切り離すこととし、まずは土日の部活動を地域に移行することとしました。令和5～7年度を「**改革推進期間**」としています。
- 生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するためには、**持続可能で一貫した指導体制を地域で確立することが求められています。**

学校だけで子どもたちのスポーツ・文化芸術活動を継続的に支えていくことは困難になります

めざすもの

子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、
地域の持続可能な生涯学習・生涯スポーツの環境を整えます

【令和6年度 部活動の地域移行の進め方】

まずは**福茶中学校単独**で活動している**卓球、陸上、吹奏楽**の3つの部活動について、**土日の活動を段階的に地域に移行**します

卓球部：齊藤正行（校長）兼部長（外部指導者として協力をお願いします）

陸上部：矢野孝介（教頭）兼部長（少年団を受け入れた活動を行います）

吹奏楽部：山本祥雄（音楽教員）兼部長（吹奏楽部が中心で活動を進めます）

○基本的には土日のどちらか一日の活動を対象とします。部活動ごとに対処を検討します

○学校の顧問と外部指導者が共同で指導していただきます

＜令和6年度に検証する内容＞

(1) 練習内容や練習時間、大会への参加、中学校顧問と外部指導者との連携など、移行に係る指導体制について検証します。

(2) 費用面・練習場所・施設管理や運用など管理面について検証します。

(3) 指導者の確保、参加体制など指導者の体制整備について検証します。

【地域移行スケジュールのチラシ（表）】

部活動の地域移行のスケジュール

令和5年度の取組 **つくる**

- 部活動の地域移行検討委員会を設置（令和4年12月準備委員会を設置）
・PTA、社会教育、スポーツ・文化芸術団体、少年団関係者などの代表で構成
- アンケートの実施
・ニーズの分析、目指す方向性の明確化
- 先進地の視察・講師を招いた研修会の開催など情報収集を行い福茶町における地域移行のイメージを明確にしていきました
・伊達市教育委員会、登別市教育委員会の視察
・福茶町小田氏による講演会の開催・各種研修会等への参加
- 福茶町地域クラブ（仮称）の制度設計
- 福茶中学校の部活動について、土日の地域移行に向けた準備
・指導者への依頼と説明・学校との打ち合わせ・保護者への説明

令和6年度の取組 **つなげる**

- 福茶中学校におけるモデル（8団体）による試行実施
(1) まずは単独で活動している卓球・陸上・吹奏楽で実施し、実施事業を開始
(2) 体制の整備・指導者の確保、関係団体との連携、活動内容の検討、参加費の負担と支援費の活用方法・実施している状況を分析と課題を把握し一つ一つ解決していきます
- 地域クラブ（仮称）設置に伴う運営方針・規則等の整備
- 指導者発達の取組～地域クラブ指導者バンクの設置
＜指導者発達の取組＞
・**福茶町内**→地域クラブ指導者の登録
・**地域団体の指導者**との連携
- 地域クラブ（仮称）の準備組織の立ち上げ
・実施形態の検討・情報収集
「市町村連携型」or「地域スポーツ団体等連携型」
- 地域移行を広げるための検討
(1) 他部活動や他団体（少年団含む）へ広げるための条件整備
(2) 他中学校へ広げるための準備

令和7年度の取組 **ひろげる**

- 全県活動の土日の地域移行を進める
実施事業の継続・他の市町村との連携・連携
- 地域クラブの運営形態の確立
- 実施事業終了に伴う次年度移行の見直し
実施事業の検証（アンケート調査等）
- 平日における部活動の地域移行の検討

＜地域移行を進める際のポイント＞

(1) 道・市が定める部活動方針を遵守し、適度な負担にならないよう努める

(2) 指導者は形質する教員も含める

(3) 地域の指導者が確保できない場合は持続可能な体制を維持できないものと判断し廃止を検討する

(4) 必要性が認められ、指導者・希望者が今後継続的に見込めると判断される場合は新たなクラブ活動として設置を検討する

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【陸上部の活動の様子】



【陸上部の活動の様子】



【卓球部の活動の様子】



【卓球部の活動の様子】

2.実証内容と成果⑤

参考資料（活動写真）



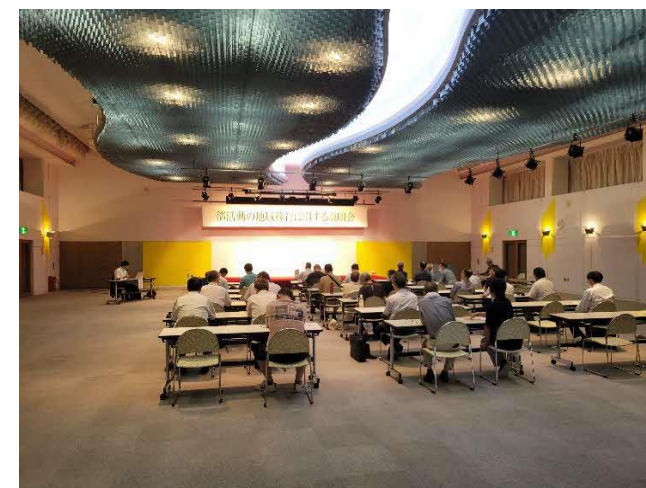
【先進地視察の様子】



【先進地視察の様子】



【部活動の在り方検討支援アドバイザーを招いての研修会】

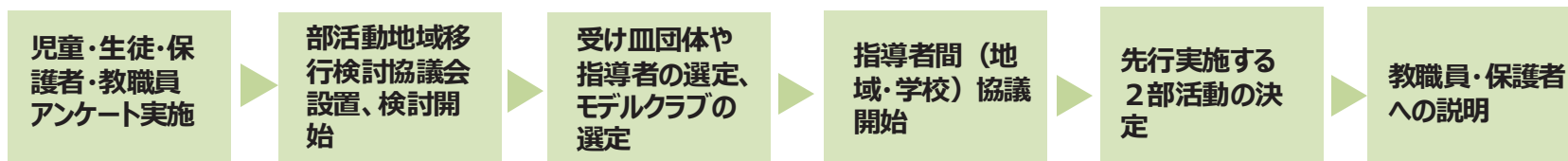


【部活動地域移行住民説明会の様子】

2.実証内容と成果⑥

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年度



令和6年度



令和7年度

中学校全部活動の休日における地域移行

令和8年度

一部中学校の平日における地域移行（一部部活動の完全移行）

令和9年度以降

全部活動の完全移行

ステークホルダー

○学校、校長会、教頭会、町長部局、町教委、文化協会、スポーツ協会、各スポーツ団体、各文化団体

経 過

○令和5年度より標茶町部活動地域移行検討委員会を設置し、推進計画を策定した。委員会では、地域移行に関する学習と先行実施部活動を決定し令和6年度から実証事業の検証を行った。

実施内容

○標茶町地域クラブを立ち上げ、2部活動（標茶中学校陸上部、標茶中学校卓球部）が活動を開始した。検討委員会では、R7年度の移行部活動の検討を始めた。

課題と今後の展開

○財源の確保、指導者の確保、生徒の移送手段の確保が大きな課題となる。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

標茶町における部活の 地域移行スケジュール

R4

R4.12月 第1部活動の地域移行に係る検討準備会議
R5.2月 第2回部活動の地域移行に係る検討準備会議
委員対象の研修会（幕別札内スポーツクラブ小田
新紀氏）
R5.3月 内部検討・道教委との連携～令和5年度の構想

R5

R5.5月 第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
6月 アンケートの実施（保護者・生徒・教員）
7月 第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
住民説明会（幕別町・小田氏を再び招き実施）
10月 先進地視察（登別市・伊達市）を実施
視察者による検討会
次年度試行実践の素案作成
12月 第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
次年度以降の構想の審議

R6

R6.4月 標茶町地域クラブ設立
5月 第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
8月 生徒向けアンケートの実施
8月 第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
外部指導員からの状況報告
12月 第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
部活動の在り方支援検討アドバイザー 熊耳雅美氏による説明会
R7.3月 第4回標茶町部活動地域移行検討委員会

R7

1 全部活動の土日の活動の地域移行を進める

（地域移行を進める際の原則）

- （1）道・町が定める部活動方針を遵守すること
- （2）希望しない教員には指導を強制しないこと
- （3）指導者、希望者が今後継続的に見込める場合は、既存のクラブにとらわれない新たなクラブ活動を検討すること
- （4）地域の指導者がどうしても確保できない場合は持続可能な体制を維持できないものと判断し廃止を検討する

2 可能な種目から平日の地域移行を始める

3 地域クラブの運営形態を確立させる

・組織の法人化の検討

R8

1 一部中学校部活動の平日における地域移行

2 R9年度以降の全部活動完全移行に向けた準備

R9
以降

全部活動の完全移行